



とのまるくん  
(ダムイメージキャラクター)

因幡のくにの夢づくり

# とのまる通信

第20号  
2004・9・1

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県岩美郡国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 <http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>

袋川源流付近はおもしろい

モオ〜驚き満載

国府町河合谷高原。

「こないだ河合谷牧場に行ったら、牛とイノシシが仲良くエサを食べとったわいや」  
え〜！ 本当ですかあ〜？

「河合谷にはよく水くみに行くじゃ。その水は、真夏でも3分、いや、1分と手をつけられんほど冷たいでえ！」

う〜！ そんな冷たい水があるんですかあ〜？

「けど、気をつけんと、時々、牛が道路を横切つてな、通れん事があるけえな！」

わお〜！ それ、見てみたい！  
という事で、今回は、

河合谷のこれらの噂を説明すべく、

袋川源流がある

河合谷高原に行ってみた！

河合谷は

モオ〜  
最高！



牛の餌を食べにやってきたイノシシ。2頭のウリ坊も近くで遊んでいた。

## 噂は本当か？

噂を解明すべく、まずは河合谷牧場へ電話してみた。

「そちらの牧場では、牛にまぎれてイノシシも見られると聞いたのですが、本当ですか？」

「ええ、牛に餌をあげた後、野生のイノシシが牛の餌を食べに山から出て来ますよ！」

「へえ～！それと…牧場内の林道(広域基幹林道河合谷線以下林道と略す)を牛が歩く事はありますか？」

「はい。林道をまたいで草地から草地へ移動する事がありますから。時々通りますよ！」

「わあ～！ぜひ見てみたいのですが…」

「いいですよ！」(中略)

という事で、翌日早朝、早速河合谷へ行く事に！

## 牛のいる風景が見られるのは春から秋まで

河合谷牧場は、扇ノ山山麓の標高約1,000m付近に広がる高原内にあり、鳥取駅から車で約50分(約30km・河合谷牧場入口『テキサスゲート』までのキロ数)の所にある。途中、ダム工事現場を通過し、雨滝方面に向かうが、雨滝の分岐点で右折せず、そのまま直進。車で約1分ほど走った所に大きな河合谷高原の案内看板があり、そこを右折し、林道をひたすら直進すると、河合谷高原へ着く。

河合谷牧場は、昭和53年に開設された牧場で、(財)鳥取県畜産振興協会が、約300ヘクタール(そのうち草地としては約100ヘクタール)の土地を県から借り受け、職員3人で管理・運営を行なっている。牧場内には、農家から預かった妊娠牛(種類は主にホルスタイン)と種つけ前の育成牛が合わせて200頭前後おり、広々とした草地で5月上旬～11月中旬頃までの期間(その年の気象状況により時期が変動する)放牧されている。



河合谷牧場職員の八馬一平さん(左)、上田英己さん(中央)、桂博文さん(右)、そして犬のゆきとベル。



林道を横断中の放牧牛。

## 牛と共生するイノシシ

「こお～い、こいこいこい！」と牧野長の上田さんが呼ぶと、体重約500キロはある牛たちが、そろそろと集まり、所々にまかれた粒状の餌を互いにけんかする事もなく、仲良く食べ始めた。上田さんと桂さんは集まった牛の数を数えながら、餌の食べ具合やお腹の張りなど、一頭一頭チェック。全頭の健康具合を見た後、次の草地へ車で移動。午前中はこのように、37区画ある草地を車で移動しながら、分散している牛たちに餌やりと健康チェックを行なっている。

「この場所は必ずイノシシが来ますよ！」と桂さんが餌やりを始めて5分…。あ！イノシシ発見！しかも親子！親が一頭、ウリ坊が2頭！牛が残した後の餌を食べている！実際見る事ができ、感動！



牛の餌を食べているせいか、毛並みが良いイノシシ。

## 林道を横切る牛の群れ

「こお～い、こいこいこい！」今度は鉄さく周辺へ牛を集め、鉄さくの一部を開放。すると牛たちは、おとなしく草地から草地へ移動し始めた。牛は群れで行動する動物のため、一頭が歩き出すと、その後を後続の牛がつい

ギヤア〜!  
マムシだあ〜〜!



林道にもよくマムシが出てくるため、油断禁物、足元注意!



てくる。牛はフンの近くの草や伸び過ぎた草は食べないため、トラクターで草を刈っては牧草をはやし、牛たちを草地から草地へ移動させながら、新鮮な牧草を与えている。河合谷牧場内には林道が通っており、この林道を越えた草地に移動する時、運が良ければ(?)牛が林道を横切る光景を見る事ができる。



トラクターで草刈りを行なう八馬一平さん。

## 袋川源流の水は、おいしくて冷た〜い天然水!

一仕事終わってから向かった先は、放牧場を出て車で1分ほど山頂方向へ走った所にある『水とのふれあい広場』。「この水がうまいんですよ!」と桂さん。すでに水をくみに来られた方がおられ、お話を伺うと…。なんと、岡山県英田町あいだちょうから来られたとの事。日々飲み水や料理に愛飲されているらしい。また、親子がこの水を3分間手で受ける事ができるかと挑戦した事があったが、あまりの冷たさに、どちらも1分も耐える事ができなかったらしい。そこで、私も挑戦! 5秒、10秒…う〜



林道のすぐわきにある『水とのふれあい広場』。あなたはこの水の冷たさに、何秒耐えられるかな?

限界! 20秒も耐える事ができなかった。

袋川源流は、この広場からさらに上流にある。残念ながら『源流の碑』を見つける事ができなかったが、この広場の水から想像して、源流はさらに冷たく、おいしい天然水である事は間違いない!

## 雄大な景色と自然を堪能!

「市内から近いのに、こんな雄大な景色が広がっていて、ここはけっこういい所ですよ。霧がなく、見晴らしがいい時は、隠岐の島も見えるんですよ! それに、林道を走っていたら、時々野生の動物にも会えますしね! 今迄見たのは…鹿、リス、キツネ、ウサギ…他に…まだ実際見た事はないですが、熊の足跡がありますから、近くにいらっしゃるでしょうね。」と桂さん。また、「あまり観光客の人はきならん(来られない)けど、よ〜知った人は、四季の変化を楽しまれているようですよ。」と上田さん。

牧場より上では標高差を利用して、河合谷高原大根が栽培されており、すでに8月中旬から収穫が始まっている。『グリーンこくふ』で販売されている他、万葉の館売店で予約販売されている。



河合谷高原で栽培されている大根畑。  
(関係者以外立ち入り禁止のため、この風景は現地に行っても見る事ができません。)

広大な緑の草原に牛の群れ、野生動物も生息し、自然豊かな河合谷高原。袋川源流は、この河合谷高原の中にあり、清らかでおいしい水が沢に流れ、鳥取市内へと流れています。この秋、ちょっと足を伸ばして袋川源流の河合谷高原周辺を散策してみませんか!

※河合谷高原周辺にはトイレがありません。(5ページの地図にトイレの場所を記入しています。ご参照ください。)

※牧場内(鉄さく内)には入れません。林道から見える風景をご堪能ください。

問い合わせ先: 国府町役場産業課 TEL: 0857-39-0561

地元の川をみつめてみよう！

## 他県の河川では洪水、袋川では？

袋川源流の一つである河合谷高原から出る水は、年中水量・水温が変わる事なく、おいしくて冷たい水が豊富に出ています。さて、下流ではどうかと見てみると…おやおや？川に水がありませんよ！原因を探ってみましょう！

あ！  
川に水がない！



国府中央橋から袋川下流を見た風景。平成16年8月17日撮影。

右の写真は、国府中央橋から袋川を見た風景です。この場所の上流には農業用水を取る『せき』があり、いつもはこの『せき』を越えて流れるほどの水がありますが、今年は川の水が少なく、『せき』を越えるほどの水がありません。

## 川の水が少ない原因は何？



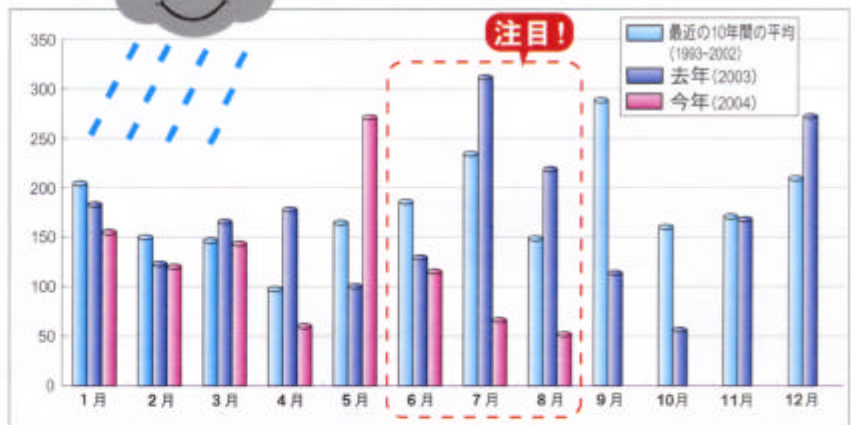
今年の夏は  
雨が少ないなあ～



### 雨が少ない？

今年は他県の各所で大雨による洪水被害が起きたので、『雨が多い』と感じていませんか？実は、鳥取県東部の今年の降水量は、5月を除く7ヶ月間、例年より少なく、特に7月8月は極端に少なく、月平均の4分の1程度しか降っていません。

降った雨の量を比べたグラフ



国府町橋本地点(鳥取河川国道事務所所管) ※2004年8月20日までのデータです。



殿ダムができると、水不足の時には、あらかじめダムにためておいた水を流して、川の水を確保するため、より安心した生活ができるようになります。

みなさん、水を大切に使いましょう！

# 殿ダム周辺マップ

特集ページ関連スポットをご紹介します！

今回特集した  
河合谷高原です！

## 河合谷牧場

鳥取駅からテキサスゲート  
まで約30km・車で約50分

## 河合谷大根畑



## 水とのふれあい広場



## 河合谷牧場事務所入り口看板



## 河合谷高原入り口看板

ここから先は1本道。河合谷方面にひたすら直進してください。また、道が細くなっていますので、対向車にご注意を！



## アトリエ(旧成器)小学校

旧成器小学校の校舎内では、河合谷高原の水で作るコーヒー&紅茶などを飲みながら、憩えるスペースがあります。また、教室の一部は、殿ダム工事事務所の監督員詰め所として利用させていただいています。



## JA鳥取いなば グリーンこくふ

新鮮野菜やお米が販売されているグリーンこくふ。今回ご紹介した河合谷高原大根も販売されています。  
営業時間:AM6:00~PM3:00まで



国府町役場  
宮ノ下小学校  
宇倍神社

国府東小学校

因幡万葉歴史館  
万葉の館

因幡万葉歴史館駐車場と、そして万葉の館と売店の間にもトイレがあります。

殿ダム工事事務所

三洋電機  
因美線  
鳥取県道53号  
鳥取県道10号  
鳥取県道11号  
鳥取県道12号  
鳥取県道13号  
鳥取県道14号  
鳥取県道15号  
鳥取県道16号  
鳥取県道17号  
鳥取県道18号  
鳥取県道19号  
鳥取県道20号  
鳥取県道21号  
鳥取県道22号  
鳥取県道23号  
鳥取県道24号  
鳥取県道25号  
鳥取県道26号  
鳥取県道27号  
鳥取県道28号  
鳥取県道29号  
鳥取県道30号  
鳥取県道31号  
鳥取県道32号  
鳥取県道33号  
鳥取県道34号  
鳥取県道35号  
鳥取県道36号  
鳥取県道37号  
鳥取県道38号  
鳥取県道39号  
鳥取県道40号  
鳥取県道41号  
鳥取県道42号  
鳥取県道43号  
鳥取県道44号  
鳥取県道45号  
鳥取県道46号  
鳥取県道47号  
鳥取県道48号  
鳥取県道49号  
鳥取県道50号  
鳥取県道51号  
鳥取県道52号  
鳥取県道53号  
鳥取県道54号  
鳥取県道55号  
鳥取県道56号  
鳥取県道57号  
鳥取県道58号  
鳥取県道59号  
鳥取県道60号  
鳥取県道61号  
鳥取県道62号  
鳥取県道63号  
鳥取県道64号  
鳥取県道65号  
鳥取県道66号  
鳥取県道67号  
鳥取県道68号  
鳥取県道69号  
鳥取県道70号  
鳥取県道71号  
鳥取県道72号  
鳥取県道73号  
鳥取県道74号  
鳥取県道75号  
鳥取県道76号  
鳥取県道77号  
鳥取県道78号  
鳥取県道79号  
鳥取県道80号  
鳥取県道81号  
鳥取県道82号  
鳥取県道83号  
鳥取県道84号  
鳥取県道85号  
鳥取県道86号  
鳥取県道87号  
鳥取県道88号  
鳥取県道89号  
鳥取県道90号  
鳥取県道91号  
鳥取県道92号  
鳥取県道93号  
鳥取県道94号  
鳥取県道95号  
鳥取県道96号  
鳥取県道97号  
鳥取県道98号  
鳥取県道99号  
鳥取県道100号



## 河合谷牧場出入り口

牛の脱走を防ぐ鉄パイプのゲート(テキサスゲート)があります。

## 殿ダム (完成イメージ図)



## 吉野そば

吉野そばでは、打ち水とだし汁に河合谷高原の水を使用。毎週日曜日のみ営業。そば打ち体験有り。

## 万葉の館

万葉の館に隣接している特産品販売所には、お土産用お菓子や木工品、陶器の他、今回ご紹介した河合谷高原大根も予約販売されています。

殿ダム周辺は  
おもしろい！

殿ダムはあなたのそばでついています！

JR鳥取駅から

殿ダム建設予定地まで車で約30分(約14Km)

市内から意外と近い殿ダム建設予定地。一度立ち寄ってみてください。



## 国府町商工会女性部による 殿ダム現場見学



殿ダム工事事務所長石川の現場説明を熱心に聞く、国府町商工会女性部の皆さん。

7月5日に国府町商工会女性部の方が現場見学に来られました。当事務所でダム事業の概要を説明後、建設作業中のダムサイトと2号トンネルの2ヶ所を見学されました。



## 殿ダム付替県道 2号トンネル貫通!

平成16年3月から掘り始めた『殿ダム付替県道2号トンネル(長さ約290m)』が平成16年8月9日に無事貫通しました。平成15年9月に貫通した1号トンネルに続く国府町内で2つ目のトンネルになります。



## 国府町としての最後の祭り

### 『国府町町制施行47周年記念事業(仮称)』開催!

市町村合併による新市の誕生並びに47年間の国府町の終息を記念して、式典や祝賀会などが行なわれます!

国府町民はもとより、鳥取市民の方々も多数ご参加ください!



- 日時:平成16年10月3日(日) 午前9:00開会
- 場所:国府町中央公民館・国府町民体育館
- 内容:映画会、講演会、こどもまつり、バザーなど



袋川絵画コンクールの表彰式も行ないます!

【問い合わせ先:国府町役場総務課 電話:0857-39-0555】



今回のとのまる通信はいかがでしたか? 河合谷高原は秋の行楽には最高ですよ! ぜひ行ってみてください。また、みなさんからの情報もお待ちしています!

殿ダム建設に伴う 移転者ご家族の今を紹介するコーナー

## 今回の元気がいな!

### 宇田川愛子さんご家族



新居前にて宇田川愛子さん(左)ご家族

殿ダム建設に伴い、平成12年に拾石集落から国府町三郷に移転された宇田川愛子さんご家族。宇田川さんが、かつて住んでおられた拾石集落の家は、昔、法美往来と呼ばれていた街道の最大の難所で、不動坂の頂上付近にあった。先祖はかつて、茶屋を営んでおられたそうで、屋号は『茶屋』。家には、その頃より使われていたと思われる、大人2人が抱きかかえるほどの大きな臼があったが、移転の際、手放された。

引っ越しの折、新居に持って来られたのは、亡きおじいさんの思い出が残る、玄関に飾ってあった大きな木の置き物と大黒柱だけ。大黒柱は玄関の『上りかまち』に加工し直され、すでに新居に調和していた。

拾石集落での思い出を愛子さんに尋ねると…「うちは拾石集落の一番上の家だったもので、生活するには難儀しました。その反面、夏は涼しいし、静かでいい所でした。」と語られた。

また、娘婿の修さんは…「一番の思い出は、納涼祭ですね! 年がいった人(年長者)から若い人(幼児)まで各家の人ほとんどみんなが参加して、踊ったり歌ったり…みんなおもしろいし、とっても楽しかったですよ!」と昔の村の様子を記録した写真集を見ながら懐かしそうに語られた。

結束力が強く、村の誰もが仲が良かった拾石集落。移転により集落は玉鉾と三郷地区に分かれ、それぞれの地で、新たな生活が始まっている。ダム建設は、こうした移転者のご協力のもと、進められています。

### お問い合わせ&お便りのあて先

国土交通省 中国地方整備局 殿ダム工事事務所  
とのまる通信編集部  
〒680-0151 鳥取県岩美郡国府町宮下1221  
TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>

